

事業報告書

1 支援団体名	本明川を語る会
2 事業名称	第6回諫早大水害を語り継ぐ～7月25日を忘れない～
3 実施日時	平成26年7月19日（土） 13:30～16:00
4 実施場所	本野ふれあい会館
5 事業目的、内容及びその効果	（事業実施状況・内容） 早大水害を風化させないために、体験者手記朗読や体験者談などを通して、その災禍を語り継ぎ、安全・安心なまちづくりを目指す。 （1）母なる川「本明川の今昔」録映画上映 （2）体験者手記朗読 『山つなみの音をきく』林信義作～朗読ボランティア青葉会 『共同生活で復興へ』林寅作～諫早コスモス音声訳の会 （3）体験者談：石崎登志郎（長崎河川国道事務所）、 （4）本野地区水害証言：木幸子（農業） （5）子ども劇『本明川をこえて』（3部作） （6）小学4年生の水質浄化活動発表 （7）本明川の歌：『本明川に捧ぐ』（コールすみれ） 『せせらぎの詩』（葡萄の会） 『とっても大切なもの』（コールすみれ、葡萄の会）
	（事業実施効果） （1）6回目の事業であったが、継続することの重要性が確認された。 （2）この事業を通して、水害の恐ろしさ・生命の尊さが再認識され、日ごろの防災対策の必要性など防災意識の高揚が図られた。 （3）今回は、場所を変えて実施した。地域の住民多数が参加したので、会場が一杯になった（200席以上）。 （4）地域や学校関係者（子ども劇や浄化活動発表）から本野地区で開催したので大いに感謝された。
6 参加内訳	総人数 289名
	（1）主催者参加 27名
	（2）日本人参加（（1）を除く） 262名
	（3）外国人参加（（1）を除く） 0名
7 今後の方針	（1）この事業の成果・課題などを検証し、内容を充実させる。 今後は上・中・下流域で開催し、身近に水害防止意識を高めたい。 （2）行政との協働体制を維持する。長崎河川国道事務所と諫早市の全面的なバックアップを期待したい。 （3）助成金を活用して、必要経費を確保する。

聴講状況



壁新聞コンクール表彰



子ども劇



諫早の母なる川本明川上映



朗 読



水害体験者談

